

第 23 回理事会

3月7日 午後5時～7時5分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林各常任理事、沖中・加藤・藤本・香田・中村・清水各理事、山本・武内・藤野各監事

議決事項

- 1 第 171 回山口県医師会臨時代議員会の付議事項について
4月25日(木)に開催、報告事項1件、議決事項7件を審議することが決定。

協議事項

- 1 平成 25 年度事業計画(案)・行事予定(案)について
事業計画の最終協議及び行事予定の調整を行った。
- 2 平成 25 年度予算(案)について
事業計画に基づき、予算編成を再度協議した。
- 3 平成 24 年度事業報告(案)について
会務別による事業報告について協議した。
- 4 第 128 回日本医師会定例代議員会における質問について
提案予定の 2 題について協議した。
- 5 平成 25 年度山口県医師会表彰の選考について
2月23日開催の生涯教育委員会で選考を行った、平成 25 年度の医学功労賞と平成 27 年度山口県医学会総会の開催地について協議し、承認された。
- 6 徳山中央病院における特例による増床について
徳山中央病院における特例による増床について、協議を行った。
- 7 3 ワクチンの予診票について
3 ワクチンの県内統一様式の予診票について、また、予診票の色についてはワクチンのラベルの色とし、子宮頸がん予防ワクチン(サーモンピンク)、ヒブワクチン(若竹色)、小児用肺炎球菌ワクチン(青色)が了承された。

8 子宮頸がん予防ワクチンの「予診のみ」の個別接種料金について

子宮頸がん予防ワクチンの「予診のみ」の標準料金については、前回の理事会で協議いただいたところであるが、MR・麻しん・風しんの第3期・第4期の「予診のみ」に基づく算定根拠について再度協議を行い、標準料金を724円とすることで、了承された。

9 平成25年度養護教諭新規採用者研修講座の講師の推薦について

やまぐち総合教育支援センターより、小学校・中学校・特別支援学校養護教諭新規採用者研修講座の講師の推薦依頼があり、推薦者2名を決めた。

報告事項

1 医事案件調査専門委員会（2月21日）

病院1件の事案について審議を行った。（林）

2 都道府県医師会事務局長連絡会（2月22日）

横倉会長の挨拶後、平成24年度に退職又は退職予定の、岩手、茨城、栃木、埼玉、愛知、京都の各府県医師会の事務局長に対して、感謝状と記念品が贈呈された。その後、「新公益法人制度移行後の留意点～法人のガバナンスと実務上の具体的対応について～」（鈴木勝治公益財団法人公益法人協会専務理事）の講演と、日医から「医師年金についてのお知らせ」に関する説明があった。（事務局長）

3 第81回山口県医療審議会医療法人部会（2月22日）

医療法人の設立認可7件、解散認可2件、理事長の特例認可1件、合併認可2件について審議、承認された。（小田）

4 生涯教育委員会（2月23日）

平成25年度の医学功労賞と平成27年度山口県医学会総会の開催地の選考を行った。また、生涯研修セミナー及び日医生涯教育協力講座セミナーの企画について協議した。（河村）

5 山口県医師会顧問弁護士・医事案件調査専門委員会合同協議会（2月23日）

本年度に発生した事案及び過去発生し係争中の事案について、各弁護士からの経過報告、今後の検討を行った。（林）

6 日医学校保健講習会（2月24日）

日本医師会で開催。午前中、「最近の学校健康教育行政の課題について」、「い

じめについて」の 2 題講演が行われ、午後から、「今日の学校保健の課題 - 健康診断を中心に - 」の 7 題のシンポジウムがあり、その後、総合討論が行われた。
(濱本、沖中)

7 山口県衛生検査所精度管理専門委員会(2月26日)

平成 24 年度に実施した県内 6 か所の立入検査の結果等について協議した。(田中)

8 中国地方社会保険医療協議会山口部会(2月26日)

医科では、新規 4 件(新規 1 件、移転 1 件、組織変更 2 件)が承認された。
(小田)

9 日医第 4 回周産期・乳幼児保健検討委員会(2月25日)

小児保健法(仮称)の議論の方向性等について審議した。(濱本)

10 郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会(2月28日)

平成 24 年度の特定健診等実施事業について関係機関から報告。25 年度の実施に向けて、県医師会集合契約、市町国保契約、県医師会請求事務代行について協議した。(田中)

11 第 2 回山口県地域産業保健センター運営協議会(2月28日)

平成 25 年度地域産業保健事業運営について労働局から説明があった。また各センターの運営状況について各コーディネーターより発表があった。(河村)

12 第 3 回山口県糖尿病対策推進委員会(2月28日)

平成 24 年度事業について報告があった。県委託事業として医療連携研修会・症例検討会を 24~25 年度で実施する。24 年度は 3 か所(下関、宇部・小野田、周南)で、来年度は他の地域で実施予定である。(弘山)

13 医療情報システム委員会(2月28日)

日医医療情報システム協議会の報告後、県内 ORCA の現状、地域医療再生補助金事業としての地区ネットワークの進捗状況等について協議した。(藤本)

14 日医死体検案研修会(2月28日)

日本医師会主催により、(1)死体検案に係る法令の概説、死体検案書の作成について、(2)「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」の

施行について、(3)死体検案 総説、(4)死体検案の実際、(5)在宅死と死体検案、(6)死体検案における死亡時画像診断(Ai)の有効性、(7)東日本大震災における検案の実際の7題の講演が行われた。参加者には、修了証が発行された。(中村)

15 平成 24 年度山口県感染症健康危機管理対策協議会 結核・インフルエンザ部会(2月28日)

山口県におけるインフルエンザの現状と対策、学校・保育園欠席者情報収集システム、結核の現状と対策について協議した。(山縣)

16 山口県歯科医師会第2回定時代議員会(3月2日)

来賓として挨拶を行った。(小田)

17 男女共同参画部会総会(3月3日)

平成 24 年度事業報告、25 年度事業計画の審議後、各郡市代表者より郡市医師会男女共同参画活動報告が行われた。その後、特別講演として、長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター長の伊東昌子教授による「医療現場におけるワークライフバランス実現を目指して～仕事をしていく上での幸福とは～」と、フォーラムとして、開業医の立場、勤務医の立場、男性医師の立場からそれぞれ発表が行われた。(濱本、田中)

18 レジナビフェア 2013in 福岡(3月3日)

出展病院数 13 病院、訪問学生数 175 名であった。(田中、中村)

19 日医医療政策シンポジウム(3月6日)

「これからの社会保障を考える」をテーマに、京都大学大学院の佐伯啓思教授による特別講演「日本経済：その混迷をもたらしたもの」と、慶応義塾大学大学院の田中 滋教授による「国民の安心を支える社会保障」、慶応義塾大学の金子 勝教授による「社会保障・税一体改革：何が必要なのか」、慶応義塾大学の土居丈朗教授による「医療保険財政を持続可能にするために」の講演 3 題が行われ、4 氏と横倉義武日本医師会長によるパネルディスカッションが行われた。(小田、吉本、濱本、河村、藤本、中村)

20 地域医療対策委員会(3月7日)

「徳山中央病院における特例による増床」について協議した。(弘山)

21 広報委員会(3月7日)

会報主要記事掲載予定(4～8月号)、緑陰随筆、25年度の県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。(林)

22 会員の入退会異動

入会 2 件、退会 12 件、異動 10 件。(3月1日現在会員数：1号 1,303名、2号 951名、3号 436名、合計 2,690名)